

令和2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 18 日

事務事業名		桜川市図書館建設検討事業					事業区分		担当		
							新規/継続	新規	事務事業No.	020203001046	
		政策体系上の位置付け					単独/補助	単独		090601	
政策体系	総合計画の施策名	O202 生涯学習・芸術文化活動の推進							所属課	生涯学習課	
	政策名	O2 生きがいを育む学びのまちづくり							課長名		
	施策名	O2 生涯学習・芸術文化活動の推進							グループ	生涯学習G	
	手段名	O3 ③生涯学習・文化施設の活用							担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				期間限定複数年 (平成29年度～年度)
	01	10	06	02	01	00	公民館管理事業(岩)				☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入
法令根拠											

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>桜川市は全国でも9市しかない図書館を持たない市であることから、桜川市民のニーズに合った図書館の構想を検討、計画にまとめることで桜川市にあるべき図書館像を明らかにし、今後の図書館建設に結びつける。</p> <p>図書館の基本的な構想・計画案を作成し、検討委員会の意見を加えた上で教育委員会へ答申する。</p>	<p>【計画案の作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜川市図書館建設検討委員会のたたき台となる計画案の作成 教育委員会への計画案の報告 <p>【検討委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員の委嘱(10名以内) 会議の開催(日程調整、資料作成等)…予算:4回分 議事録作成 <p>【答申】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員会の検討結果を元に基本構想・計画を策定し、教育委員会へ答申

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 計画案作成 資料作成 開催日程調整 議事録作成 計画策定 	検討委員会開催回数	回	0.00	0.00	4.00	4.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 桜川市図書館建設基本構想・計画 図書館建設検討委員 	図書館建設検討委員	名	0.00	0.00	10.00	10.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川市にあるべき図書館の姿を示すことにより、図書館建設事業へとつなげる。	策定計画案	案	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	30年度	01年度	02年度	期間限定総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	89	0
		事業費計(A)	千円	0	0	89	0
		正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)			02年度事業費 予算(千円)		
				01 報酬	84	
			11 需用費	5		
			合計	0		
					合計	89

事務事業名	桜川市図書館建設検討事業	事務事業No.	20203001046	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成29年8月21日：市民より図書館建設を求める請願書が市議会へ提出 同年 11月16日：文教厚生常任委員会で趣旨採択 ⇒平成30年度から予算化					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
【市民】 ・公民館やICT機能を備えた最新型の図書センターを要望する。 ・市の将来にとってインテリジェンスの拠点となる施設としてほしい。 【議会】 ・合併特例債事業「岩瀬駅跨線橋・ミニ図書館建設事業」との整合性を取るよう求められている。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 新たな図書館の建設は、総合計画「生涯学習・芸術文化活動の推進」の中に掲げられており、市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 桜川市は全国でも数少ない図書館の無い市の一つであり、市民の知の拠点としての図書館整備は強く求められている。図書館のサービスは基本的に無償であり、営利を求めない自治体以外に建設することは難しい。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 桜川市には公民館図書室しか無いため、人口規模に対して図書等の資料があるべき水準に達していないことから、図書館としての水準を満たした図書館施設を建設することにより市民の学習意欲向上や生涯学習活動の活性化が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 桜川市が図書館の無い市から脱却できず、市民のニーズが満たせない。他の自治体に比べて生活環境・学習環境が劣ったままとなり、よりいっそうの人口の減少につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 具体的な手段、事務事業名 岩瀬中央公民館管理事業、大和中央公民館管理事業 市内公民館施設は老朽化が進んでおり、それらの更新と併せて計画することにより公共施設数を増やさずに施設の充実が図れる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最低限となる会議費用の予算しかないため、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 図書館は市民全員が使える知の拠点であり、これまで整備がされてこなかった施設であることから市民ニーズも高く、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	桜川市には図書館が無いことから図書館建設の検討は急務である。市民からもある程度機能面で具体的な要望が出ていること、現在ある図書室との関係性から、既存の施設では満たせないニーズを満たすものにする必要がある。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加										
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
文教厚生常任委員会では合併特例債事業「岩瀬駅橋上化及びミニ図書館計画」との整理が必要という指摘があり、現在進められない状況となっている特例債事業の扱いについても同時に検討する必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> -																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>